

知事コメント

令和2年12月28日(月)

先般、12月14日に「年末年始の医療崩壊を回避するための緊急特別対策」を発出し、2週間が経過いたしました。

これまでの間、全国的には感染拡大に歯止めがかからない状況が続いております。県内では、飲食業をはじめ各業界がガイドラインを作成し、遵守した運営に取り組まれている等、力強いご協力により、新規感染者数には、減少傾向が見られています。ありがとうございます。

しかしながら、ここ数日は伊平屋島でクラスターが発生し、名護市などの北部地域や、宮古島地域で新規感染者数に増加傾向が見られます。

依然として新型コロナで322人の方が療養中となっているのに加えて、コロナ以外の一般病床利用率は約90%となっているなど、油断できる状況とはいえません。

県としましては、新型コロナウイルスに関する医療体制を維持するため、救急医療機関以外の病院や診療所に発熱外来を行っていただくため、調整をいたしました。この度、リストとしてまとめましたので、公表することといたします。また、年末年始に発熱外来を行っていただく医療機関に対する協力金を創設するとともに、新型コロナ患者の入院受け入れをしていただく医療機関に対する協力金の単価を増額するなど、支援策を拡充いたします。

県民の皆さまにおかれましては、発熱や呼吸器の症状など、新型コロナやインフルエンザが疑われる症状がある場合、まずは、コールセンターに相談したうえで受診してください。コールセンター等の指示により医療機関を受診する際には、必ずマスクを着用するなど、感染対策を講じてください。なお、小児の場合は、「#8000」もご活用下さい。

一方、例年12月29日から1月3日までの期間は救急病院が混雑し、ひっ迫する状況がありますので、不要不急の受診は控えてくださいますようお願いいたします。ただし、意識障害や呼吸困難等、いつもと明らかに違う症状がある場合は、ためらわずに受診してください。

さて、現在、営業時間短縮要請の対象地域は5つの市となっておりますが、対象地域に隣接する市町村から「10時以降はこっちに客が流れてきてしまう。感染拡大が心配だ。」と懸念する声も聞かれています。そのような行動は、時短要請の趣旨に反することであり、感染拡大リスクを高めてしまいます。是非ともお控え下さい。どこであっても、会食・会合は、

4人以下、2時間以内、夜10時には解散する、そして会話をするときにはマスクやハンカチで口を押さえるなど、感染対策の徹底をお願いします。沖縄に帰省や旅行でいらっしゃる方々についても、県民と同様に感染対策にご協力下さい。

また、最近の感染状況を見ますと、60代以上の感染者数が減少傾向にある一方、若い年代が会食やイベントに参加しての感染は増加傾向にあります。

クリスマスが終わり、年末年始にかけてカウントダウンパーティや初詣、成人式、忘年会や新年会など、特に若い方々にとって、例年であれば華やかで楽しみなイベントが続く時期ではありますが、今回は、何としても感染拡大を抑え込まなければならない時期であることを再認識していただきたいと思います。

現在は、どこで感染してもおかしくない状況にあります。自分だけは大丈夫だと思わないで下さい。ご自身は重症化しなくとも、活動的であればあるほど感染を拡げてしまうリスクは高くなります。他人を思いやり、感染を拡げないためにマスクの着用、3密回避などの行動を徹底して下さい。当然、体調不良時には、イベント等に参加することは絶対にやめて下さい。

先ほどご覧いただいたとおり、県では、若手職員のアイディアで、若者向けの動画を作成し、配信することとしました。ツイッターやYouTubeで拡散する予定です。その動画を拡散していただき、コロナの感染拡大防止対策へのご協力をお願いします。

県民の皆さまにおかれましては、先の見えないコロナとの戦いに不安を感じていることと思います。しかしながら、お互いにお互いのことを思いやり、支え合い、県民一丸となって感染対策を徹底すれば、必ず目に見える成果がでてきます。

何度も申し上げますが、新型コロナとの日常生活での付き合いは、皆でコロナを「うつさない」、「うつらない」、医療機関を「潰さない」そういう行動を、努力を、一丸となって実践していくことにつきます。マスクを着けることも手を洗うことも、うがいをすることも、3密を避けることも、現在の行動様式からは切り離して考えることはできません。また、そういうことが無いように、しっかり努めていただきたいと思います。いつもと違う年末年始を、皆で頑張って乗り越えてまいりましょう。ぜひ、県民の皆さまのご理解、ご協力を、よろしくお願いします。